

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
二 学 期	2次関数 【知識及び技能】 2次不等式の解法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式・2次不等式の解を、2次関数のグラフとx軸との位置関係によってとらえられる。 【学びに向かう力、人間性等】 基礎を定着させ、発展的な問題に挑戦させる。	・指導事項 2次方程式 グラフと2次方程式 グラフと2次不等式 ・教材 教科書 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 平方完成や因数分解の公式、解の公式を用いて2次式とグラフの位置関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を2次不等式で解決しようとする意欲がある。	○	○	○	7
	図形と計量 【知識及び技能】 30°、45°、60°の三角比の値について理解させる。 簡単な測量問題を手がかりとして三角比の有用性を知らせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鈍角の三角比について考察し、相互関係について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な問題を多く扱い、新しい学習事項を定着させる。	・指導事項 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 ・教材 教科書 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 直接測ることのできない距離や角度を求めることに関心を示す。 【思考・判断・表現】 座標を用いた三角比の定義を理解し、鈍角の場合に拡張して求めることができる。 三角比の相互関係を用いて、1つの値から残りの値を求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 新しい学習内容を理解しようと積極的に問題に取り組んでいる。	○	○	○	7
	中間考査			○	○		1
	図形と計量 【知識及び技能】 正弦定理・余弦定理を導き、その有用性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の面積を求める公式を導き、これを活用して種々の計算問題を処理する能力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な問題を多く扱い、新しい学習事項を定着させる。	・指導事項 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用 ・教材 教科書 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角比を用いて三角形の面積を求めようとしている。 辺の長さや角度などの条件が与えられた三角形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 定理や公式を導くことやそれらを活用して問題を解くことに集中して取り組んでいる。	○	○	○	7
	データの分析 【知識及び技能】 代表値の意味と計算方法を理解させる。 四分位範囲、四分位偏差、分散、標準偏差について理解させる。 相関係数の意味と計算方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 代表値を用いてデータの傾向を把握する力を養う。 箱ひげ図を用いてデータの傾向を視覚的にとらえられるようにする。 散布図や相関表をかくことでデータの相関を直感的に理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 統計の基本的な考えを理解させ、データを整理・分析し傾向を把握できるようにする。	・指導事項 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位範囲 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方 ・教材 教科書 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 代表値の意味を理解し、それらを求めることができる。 四分位範囲の定義やその意味を理解し、データの散らばりを比較することができる。 分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらを求めることができる。 相関係数の意味を理解しその値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 箱ひげ図や散布図、相関表を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 与えられたデータを整理し、そこから傾向を読み取り変量の変化によってどのような違いが出てくるのかを考察することができる。	○	○	○	7
	期末考査			○	○		1
三 学 期	総合的な問題を理解させる。	・指導事項 全範囲 ・教材 教科書 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基本的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 今まで学んだことを生かして様々な問題に対応できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 困難な問題に直面してもやり抜く力がある。	○	○	○	19
	年度末考査			○	○		1
							合計
							78